



発行者
学校法人聖隷学園
聖隷クリストファー大学・大学院
聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校
聖隷クリストファー中・高等学校
聖隷クリストファー小学校
聖隷クリストファー大学附属
クリストファーこども園

〒433-8558
浜松市中央区三方原町3453
電話 053(436)5311
<http://www.seirei.ac.jp>

聖句

「あなたたちは真理を知り、

真理はあなたたちを自由にする。」

ヨハネによる福音書 8章32節



「グローバルスクール中等部・高等部」 開校に向けた準備状況・国際バカロレア認定

聖隷クリストファーグローバルスクール中等部・高等部 校長予定者 中野 学也

来年4月に聖隷学園の新たな
中高等学校として開校を予定し
ている「聖隷クリストファーグ
ローバルスクール中高等部」。
その生徒たちが学ぶ新校舎の定
礎式が9月25日に執り行われま
した。新校舎入口に据えられる
定礎板には、「真理はあなたた
ちを自由にする」という新約聖
書ヨハネによる福音書8章32
節の言葉が刻まれています。こ
れは、新校舎で行われるグロー
バルスクールの学びが、学園の
他の施設と同じく、聖隷の原点
であるキリスト教精神を礎とし
て展開されていくことを示して
います。

は、隣接す
る中・高等
学校や小学
校の校舎と
統一感のあ
る壁やレン
ガが見え始
めており、
新校舎で始
まるグロー
バルスクー
ルの学びが
いよいよ現
実味を帯びてきました。現在の
中高等学校グローバルスクール
コースの中学1年生から高校1
年生までの生徒と、聖隷クリ
ストファー小学校開校時に1年生
だった現6年生が、来年4月に
グローバルスクール中高等部の
生徒として新たな学びを始める
まであと数か月です。

新校舎パース図



グローバルスクール中高等
部では、英語イマージョン教育
と、今年7月に認定を受けた
国際バカロレア・ディプロマ
プログラム(DP)の実施によ
り、「隣人愛」の精神を世界で
発揮できる次世代のグローバ
ルリーダーの育成を目指しま
す。DPは、海外大学進学のス
テップにもなる高校2・3年
次に行う世界共通の教育プロ
グラムです。新校舎の完成と
同時に、
グローバル
ルスクー
ルの新高
校2年生
がDPの
学びを開
始するこ
とになり
ます。



聖書のことば

学校法人聖隷学園 宗教部 総主任 大野 和男

右記聖句は、先日行われたグローバルス
クール新校舎の定礎板に刻まれています。
大学5号館や小学校など、学園のいくつかの
校舎にも同じ聖句を見ることが出来ます。

聖書の語る「真理」とは、単なる正解や知識
ではなく、神さまが示される「本来の姿」で
す。それは主イエスが「わたしは道であり、
真理であり、命である」(ヨハネ14章6節)と
語られたように、主イエスご自身と重ねられ
ます。つまり「真理を知る」とは、主イエスを
通して、神さまに愛され、赦され、受け入れら
れている自分を知ることなのです。

私たちは勉強や人間関係のなかで、評価や
比較に不安を覚え、「本当の自分がわからな
い」と悩むことがあります。しかし聖書の語る
「真理」は、その不安を超えて「あなたは神さ
まの愛する子である」と告げています。そして
イエスは、この真理にとどまるなら、本当の
自由を生きられると約束してくださるのです。

なお、学園の定礎板には、この聖句ではない
言葉が刻まれている場所もあります。校舎を
訪れたときに、ぜひ探してみてください。

TOPICS

聖隷クリストファー中・高等学校

聖隷クリストファー中・高等学校の新たな試み

アントレプレナーシップクラスの開設

聖隷クリストファー中・高等学校 副校長 池本 裕之

私たちの予想をはるかに超えるスピードで変化する、先の見えない現代社会において、「より良い未来を作り出すために、解決不可能に思える課題の解決に挑み、友と協働して粘り強くチャレンジし、変革を起こすことができる。」そんな、未来の担い手を育てたい。それには、どんな教育が必要か？中学・高校での学びには可能性はあるのか？

そんなことを模索して、本校は2026年度、高校に新しく「アントレプレナーシップクラス」をスタートさせます。「アントレプレナーシップ」とは「急激な社会の変化を受け止め、解析し、それに対応する新たな価値を提案し、新たな仕組みを創造できる精神や姿勢」を意味します。そのような「精神や姿勢」を身に付

けるためには、これまでの学校の授業・勉強にとらわれない、どのような学びの形がありうるのでしょうか。



実践力を鍛えるPBL演習(イメージ)

アントレプレナーシップ・クラスの学び

学習指導要領に定められた
教科・科目【通常授業】
論理的思考力・
理解力・表現力を
獲得する場

+

アントレプレナーシップ・クラス
独自の授業【学校設定科目】
アントレプレナーシップの
マインドや基本的知識や
スキルを習得する場

+

PBL演習
【プロジェクト型学習】【部活動として活動】
身に付けた力を活かす
実践の場、様々な方々と
触れ合い学ぶ場

海外大学や国内難関大学への進学

このクラスでは、学習指導要領で定められた通常の授業に加えて、アントレプレナーシップを育てるマインドやスキルについて、校外の専門家や起業家の方々の指導を取り入れ、本物に触れる学びを提供します。部活動にあたるプロジェクト型学習では、取得したスキルを活かし、グループでイベントやワークショップを企画し、実践的に創り上げることに取り組みます。また、世界の最先端を体験し、視野を広げるために、英語力の向上・強化をめざしたプログラムや海外研修を実施します。

通信制課程の開設準備中

近年、通信制高校に通う高校生が増加しています。中学卒業後、最初から通信制を選ぶケースも増えています。背景には不登校の増加があります。更に、生活の中心には自分のやりたいことを置き、勉強も必要だから通信制高校を自ら選択するというケースも増加しています。通信制を取り巻く環境と評価は大きく変化してきました。

このような時代背景の中、聖隷クリストファー高校では、様々な背景を持つ生徒たちを受け入れ、その個性や能力を再発見し、学びを助ける場を構想しています。「隣人」として共に歩める人を育て、高校卒業後の進路までも見据えて指導する、新たな学びの場：通信制高校の設置を計画しています。

※現在、計画書の提出を終え、正式認可に向けて準備中です。

中学生を伸ばす教育プログラム

聖隷クリストファー中・高等学校 入試広報副部長 岡渕 直哉

SEED PROGRAM

聖隷の新しい「伸ばす教育プログラム」がキミを大きく飛躍させる

蒔かれた“種”は、愛と信頼に満ちた環境の中で芽を出し、やがて大きく花開いていきます。

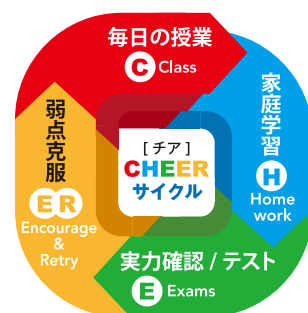
聖隷クリストファー中学校・中高一貫コースの「SEEDプログラム」は、

日々の積み重ねを通して、基礎学力・人間力・未来推進力の向上に取り組み、

生徒一人ひとりが自己の能力を高め、将来の可能性を最大限に引き出すことを目指しています。

小さな“種”が大きく育つように、新たな可能性と能力を見だし、

その力を大きく伸ばして、未来を切り拓き、自己実現へとつながっていきます。



TOPICS

聖隷クリストファー大学・大学院

「保育実践演習」×附属こども園

私が担当する「保育実践演習」の授業の一環として、4年次生が「子どもの探究を探究する」をテーマに、大学附属こども園の保育実践に参加しています。学生は子どもたちの遊びを観察し、印象的な



学生作成のドキュメンテーション

聖隷クリストファー大学 国際教育学部 助教 杉山 沙旺美
瞬間をカメラで記録、その記録をもとに子どもの行為や思いを考察し、保育ドキュメンテーションを作成します。ドキュメンテーションは完成が目的ではなく、語り合うことが大切です。なぜその場面を選んだのか、子どもの行為をどう理解するかを議論する中で、自らの保育観に気付き、理解を深め、次の実践を考える契機となります。子どもの探究に気付き、その声に耳を傾け、記録し語り合う。実際の保育の場に参加できるからこそ得られる貴重な学びです。

学生が小学校の先生に！—竹本ゼミ×浜松市立中川小学校—

私が担当しているゼミの4年次生が「プログラミング先生」として浜松市立中川小学校の教壇に立ち、プログラミングの出前授業を行いました。学生たちは、小学生がプログラミング言語「スクラッチ」で自分だけのゲームを創り上げるのを、一人ひとりに寄り添いながらサポート。子どもたちの自由な発想に驚き、うまくいかない時も共に試行錯誤する中で、教えることの難しさと、アイデアが形になった時の喜びを分かち合う楽しさを実感しました。「子どもと同じ目線で考える」という大切な学びを得て、未来の教員として大きく成長する貴重な経験となりました。

聖隷クリストファー大学 国際教育学部 教授 竹本 石樹



プログラミングに興味津々な児童たち

TOPICS

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

高齢者施設のボランティアにて

実践力アップ、特にコミュニケーション能力の向上のために、介護実習以外でも、高齢者施設で人と関わる機会としてボランティア企画を設けています。学生の多くが、実習に出向く前に、『一番大切にしたいのはコミュニケーション』と発言をしています。介護福祉士を目指す上で、普段の日常生活から、利用者の気持ちを考え、より良い生活の実現のために日々努力をしています。ボランティア活動では、VR（仮想現実）を駆使したレクリエーションを担当しました。施設に暮らす高齢者が不安にならないよう最初は学生がシミュレーション



初めての経験に心が高鳴る高齢者

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 校長 野田 由佳里

をします。多くの女性利用者がVRの装着を嫌がるのに対し、男性利用者は興味津々で装着されていました。また男性利用者のお一人は、かつての職業で【双眼鏡】を日頃使用されていたというエピソードも伺い、生活歴をしっかりとアセスメント（評価、分析）することの意味も再確認できたようでした。

農家の方からお米の寄付

昨今は米の高騰があり、特に留学生にとって主食の米の値上がりは日々の生活を圧迫しています。先日、「留学生に配布してください」と農家の方から60kgの米の寄付を頂きました。留学生を始め希望者に2kgずつ配布をしました。



いただいたお米に笑顔の留学生たち

第107回全国高等学校野球選手権大会

聖地・甲子園で躍動！

初出場で歴史的初勝利を挙げ聖隷旋風巻き起こす！

聖隷クリストファー中・高等学校 校長・野球部監督 上村 敏正



この度は、第107回全国高等学校野球選手権大会の出場に際して、多大なるご支援とご協力を賜り誠にありがとうございました。

「聖隷」の名称が生まれて100年、学園創立60年、野球部創部40年の年に、甲子園に初出場でき、「聖隷」の名が全国に知られ、本当に良かったと思います。2020年のコロナ禍での甲子園大会中止、2022年の選抜大会の落選、そして昨年の決勝戦敗退と、甲子園に出場できない聖隷と有名になっていました。私自身「もう甲子園に行くことはできないのか」と思うこともありました。

今回、甲子園で「クリストファーの意味は何ですか？」

「奴隷の隷という字をなぜ使うのですか？」「校歌が讃美歌なのはなぜですか？」と多くの質問を受けました。聖隷の歴史のすべてを語ることはできませんでしたが、ユニフォームの左肩のシンボルマークが「聖隷」の使命である医療・福祉・教育を表していることはお伝えしました。甲子園での皆さんの熱のこもった応援、スタンドから湧き上がる声援は、選手の力となりました。浜松から応援に参じた生徒達にも、忘れられない青春の思い出となったことでしょう。

この出場は、学園の新たな歴史づくりのスタートでもあります。より良き学校を目指し、日々精進していく覚悟です。皆さんのご支援とご協力を賜りたいと思います。

第107回全国高等学校野球選手権大会結果

【甲子園大会】2回戦……聖隷 1-2 西日本短大付(福岡)
1回戦……聖隷 5-1 明秀日立(茨城)

【静岡県大会】

決 勝…聖隷 3-1 静岡(7/28草薙球場)
準 決 勝…聖隷 4-0 藤枝明誠(7/26草薙球場)
準々決勝…聖隷 3-1 御殿場西(7/24草薙球場)
4 回 戦…聖隷 8-0 市立沼津(7回コールド)(7/22浜松球場)
3 回 戦…聖隷 8-0 韮山(7回コールド)(7/19浜松球場)
2 回 戦…聖隷 8-1 湖西(7回コールド)(7/12浜松球場)

野球部は春季県大会、夏季県大会を制し、2季連続優勝の快挙を果たして悲願の甲子園出場を掴み取りました。夏季県大会では全6試合で聖隷らしい戦いぶりを発揮。安定した堅守と好機を見逃さない繋ぐ野球で見事頂点まで上りつめました。甲子園では初出場を祝いアルプススタンドを埋め尽くす大応援団が集結。超満員のスタンドが一体となって「viva聖隷」を歌って応援し、選手たちを後押ししました。全国の強豪校を相手に熱く全力で戦う姿は、学園の生徒たちに、そして学園に繋がる多くの人々に勇気と誇りを与えてくれました。



ご寄付のお礼とご報告

この度は、第107回 全国高等学校野球選手権大会の出場に際しましては、公私にわたり多くの皆様から格別なるご厚志と、温かいご声援を賜りましたことを、心より御礼申し上げます。大会に係る収支状況につきましては、収入見込は64,286,447円(寄付、補助金、バス代金等)、支出は53,428,534円(選手団派遣・用具・応援費等支出予定分を含む)となっております。最終的に収支が確定しましたら、本校ホームページで改めてご報告いたしますが、差額につきましては今後の野球部の活動に大切に使用していただく考えです。秋季県大会においても、春・夏に続いて優勝し、来春の選抜高校野球大会出場を期して、10月、東海地区大会に臨みましたが、準決勝で惜敗いたしました。今後とも、一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



聖隷クリストファー中・高等学校

今夏、全国に出場した4部活！聖隷クリストファー旋風！

2025高校総体／中学生大会 高校生・中学生ともに全国大会出場



少林寺拳法部

2025高等学校総合体育大会静岡県大会

女子単独演武 1位 全国大会出場
女子団体演武 1位 全国大会出場

2025全国中学生少林寺拳法大会静岡県予選

男子単独演武 1位 全国大会出場
男子組演武 1位 全国大会出場
女子単独演武 1位 全国大会出場
女子組演武 1位 全国大会出場

【全国大会】

男子単独演武 全国3位入賞(143名中)



2025NHK杯全国高校放送コンテスト 全国大会出場&上位入賞



放送部

第72回NHK杯全国高校放送コンテスト

【静岡県大会】

創作テレビドラマ部門「eureka」優勝 全国大会出場
ラジオドキュメント部門「はっぱのリレー」優秀賞(第4位)
全国大会出場

【全国大会】

創作テレビドラマ部門「eureka」(エウレカ)制作奨励賞
(全国383作品中上位20作品)

放送部作品はこちらでご覧いただけます⇒
(放送部YouTubeチャンネル)



2025高校総体(中国総体2025) ライト級・全国大会出場



ボクシング部

【静岡県予選】ライト級 優勝 県大会第1位で
全国大会に出場 白井瑛太(2年)

第47回全国高等学校 小倉百人一首競技かるた選手権大会出場



かるた部

初段を獲得した高校2年生2名が全国大会に出場

2025西部選手権大会 男子・女子ともに 西部地区優勝

男子・女子バレーボール部



いつも温かいご支援ありがとうございます。

引き続きご支援・ご声援のほどよろしくお願い致します。

最新部活
INFORMATIONは
公式SNSでも更新中!



Instagram



Facebook



TOPICS

聖隷クリストファー小学校

第3回オーストラリア留学について 聖隷クリストファー小学校 6年生担任 芹澤 侑弥(聖隷クリストファー大学卒)

10月11日から26日までの2週間、本校6年生はオーストラリアのインマニュエルカレッジにて、第3回海外留学に挑戦しました。

今回の大きな特徴は、事前学習の段階から両校の教員が協働で授業プランを作成したことです。日本での学びとオーストラリアでの実践をつなぐ丁寧な準備により、子どもたちは現地校の授業中や休み時間にも、臆することなく堂々と英語でコミュニケーションを取ることができました。また、全校集会では、これまで練習を重ねてきた演劇を通して日本文化を紹介し、多くの拍手をいただきました。



サーファーズ・パラダイスにて



現地の児童との交流

現地校での学びに加え、ホームステイ先での異文化体験は、子どもたちにとって大きな成長の機会となりました。ゴールドコーストの美しいビーチや、コアラやカンガルーとの触れ合いも、忘れられない思い出です。まさに「あっという間の2週間」でしたが、帰国後には「もっと英語を話せるようになりたい」「いろいろな国に行ってみたい」といった、前向きでたくましい声が多く聞かれました。この留学で得た自信と主体性は、子どもたちがグローバル社会で活躍するための大きな財産となることと思います。

TOPICS

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

Student Agency in Communication and Working Together

Seirei Christopher Kodomoen Teacher : Nadine Okada

In the Lion class, when a student shows interest in exploring a topic, we stand beside them in their exploration, gently supporting them as they grow in using their agency.

Two students decided to write a story about a rocket ship. They drew pictures together and asked a teacher to help them write their collaborative tale. They began working through what it means to collaborate. One would write an idea, and the other would sometimes have an idea that was off topic. At that point, they would stop and regroup, and then they would talk about where the story was going so that it could all fit together.



Then, their ideas progressed to wanting to build their own rocket ship. As teachers, we made known to the other students that a rocket was being made, but we

let them choose what to do about it. Other students began using their own agency to show an interest in joining the rocket build. They began thinking about their communication and taking risks with it.

While the students use various languages, which presents natural challenges when words don't flow easily, they consistently demonstrate deep thought about their communication in order to play together. This is evidenced by them trying out the language they are less familiar with, or sometimes checking how to phrase a request in the language they are learning before speaking to their classmates.

Despite their differences in language and perspective, they consistently demonstrate deep thought about their communication in order to pursue the shared goal of playing together. When we as teachers allow the students to interact naturally in the midst of their exploration, they have the space to use their agency by challenge themselves in areas of communication, collaboration, and risk taking.



日本語訳

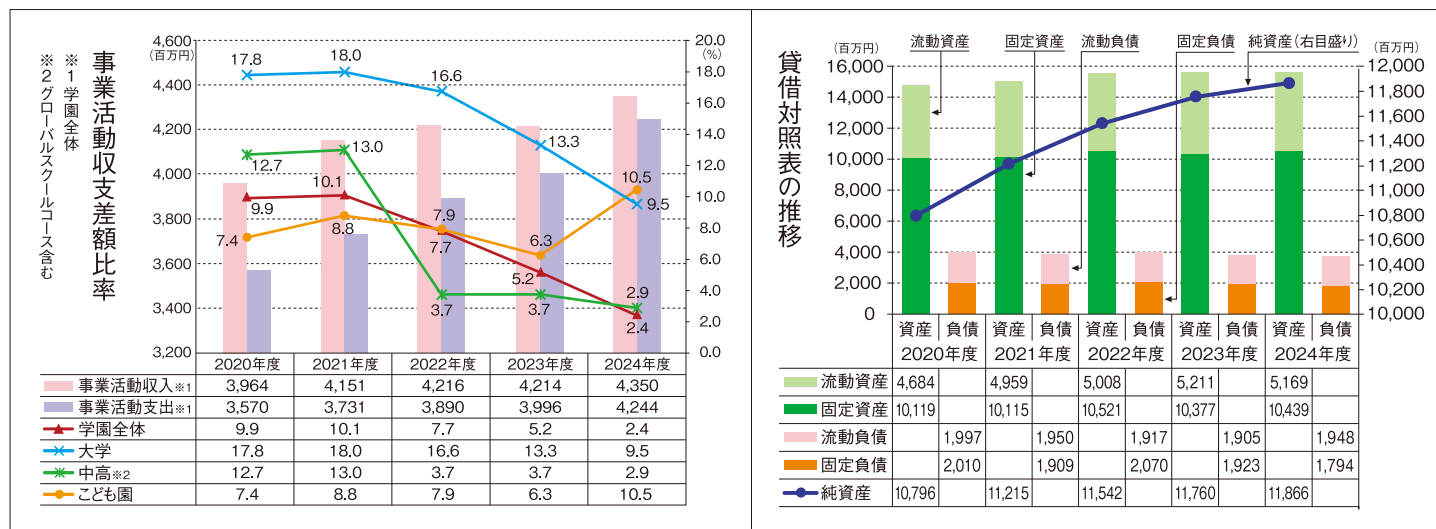
2024年度決算における財務状況および2025年度予算の概要

◆2024年度決算について

1. 学生・生徒・児童・園児数は学園全体で3,112名となり、前年度から98名減少しています。これは、高等学校において入学者が多かった年度の生徒が卒業したことによるものです。定員充足率は学園全体で94.8%(対前年度3.9%減)となりました。
2. 学校法人の事業は中長期経営計画に基づいて推進しており、2024年度の財務状況は学園全体の収支(事業活動収支差額)がプラス2.4%(1億573万円)と計画を上回って改善しております。(大学法人の全国平均値は4.2%です。)

※事業活動収支差額は損益計算書の当期利益にあたります。

3. 2024年度末の総資産156億713万円に対し、有利子負債は14億456万円となりました。純資産額についても1億573万円増となりました。



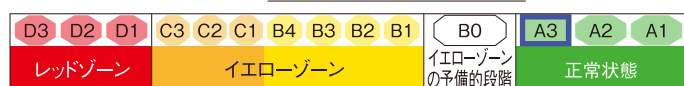
各学校の状況

2024年度では、私立学校法に基づく収益事業(貸家業)を2024年6月で終了し、建物等資産や負債、元入金等もすべて学校会計に繰入しました。また、施設設備の整備は、グローバルスクール校舎建築総費用10%分の支払いを始め、設計管理料、行政への申請費用で2億326万円、その他、中高体育館エアコン設置工事など教育保育環境の充実を図りました。

1. 大学の収支は安定した状況を継続しております。毎年計画的に行っております教室等のエアコン取替工事2,407万円、学生職員用駐車場整備2,911万円、この他、前年度と同様に、学生満足度調査からの要望を受け、従来型の机から幅広い机に入替をしました。次年度は教室の改修を行う予定です。
2. 専門学校は、介護福祉士国家試験合格率100%(3年連続)となりました。
3. 中・高等学校は、体育館エアコン設置2,812万円、また体育館のサッシやサッカー場のネット修繕など教育環境の改善を図りました。
4. 小学校は、国際バカロレア(IB)初等教育プログラム(PYP)認定校として、建学の精神である「隣人愛」を基盤に、特色である「英語イマージョン教育」と「探究型学習」の充実を図りました。
5. こども園は、園児の安全を第一優先とし、教育保育活動を行いました。また、地域子育て支援の充実も図りました。

◆経営判断指標に基づく学校法人経営状態の区分

日本私立学校振興・共済事業団では、学校法人の経営状態を指標により14区分に分類しています。2024年度決算についてこの指標による判定の結果、本学園は上位から3番目のA3ランクに分類され、財務状況は正常な状態にあります。



2025年度事業計画および予算の執行状況 (2025.11現在)

2025年度の主な事業計画は下記のとおりです。予算は中長期財務計画をひとつの指標とし、事業計画に沿った予算申請、査定を経て編成しております。

《法人》

- 1) 聖隷クリストファーグローバルスクール中高等部(仮称)設置準備
新校舎建築(2026年3月完成予定)
国際バカロレア教育をふまえたカリキュラム、教員配置計画等構築

《大学》

- 2) 入学者目標数の達成に向けた全学教職協働による学生募集・広報活動の推進
- 3) 学士課程における教養/共通科目の再構築(新カリキュラム検討)
- 4) 大学院の教育課程の検討と心理学分野心理領域の開設準備
- 5) 教育研究を充実させるために必要な環境整備

《中・高等学校》

- 6) 基礎学力の定着を図るとともに、進路目標の実現に向け、生徒が主体的に学習に取り組む態度を育成する
- 7) 校内外の施設の充実(教育環境の充実)

《グローバルスクールコース(中高)》

- 8) 新学校設立に向けての準備

《小学校》

- 9) 建学の精神及び教育理念に基づいた学校運営及び教育活動の実施
- 10) 国際バカロレア初等教育プログラム(IB PYP)の基準に合わせた本学の教育方針・方法の作成と実施

《こども園》

- 11) PYP認定校としてさらに教員研修の充実、カリキュラムの構築
- 12) 子育て支援環境の充実

2025年度予算における学園の事業活動収支状況は、法人全体の収入が41億4700万円、支出が42億7000万円、収支差額は▲1億2300万円(事業活動収支差額▲3.0%)となっております。これらの主な要因は、小学校、中学校、専門学校の定員未充足による支出超過です。今年度もさらに各学校の特色ある教育保育を充実させ、教育内容を広く知っていただき、選ばれる学校になるよう努力してまいります。また、グローバルスクール新校舎建築について、2026年3月完成を目指し、現在工事を行っております。日頃より、保護者様や地域の皆様のご理解ご協力により、順調に工事が進んでおりますことを大変感謝申し上げます。



社会福祉法人 聖隷福祉事業団 保健事業部よりご案内

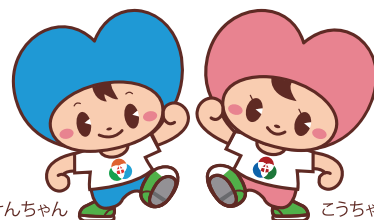
家族の笑顔は健康から



年に1度は健康チェック!!

人間ドック・健康診断
受けていますか?

聖隷福祉事業団 保健事業部は
静岡県内7施設で
皆さまの健康を支援します



けんちゃん こうちゃん
保健事業部イメージキャラクター



聖隷予防検診センター



地域・企業健診センター

浜松市



聖隷健康診断センター
東伊場クリニック



聖隷健康診断センター

聖隷健康サポートセンター Shizuoka

静岡市



聖隷静岡健診クリニック

富士市



聖隷富士健康診断センター



聖隷 保健 | 🔍